
第6 セッション

(スーパーバイズ)



Social work らぼ 代表 田畑 寿明

コーディネーターの役割とは？

地域を基盤としたソーシャルワーク

本人・家族の幸せづくり

アセス

① 個別的な支援

(小さなケアマネ)

プラン

情報

② 地域づくり

(大きなケアマネ)

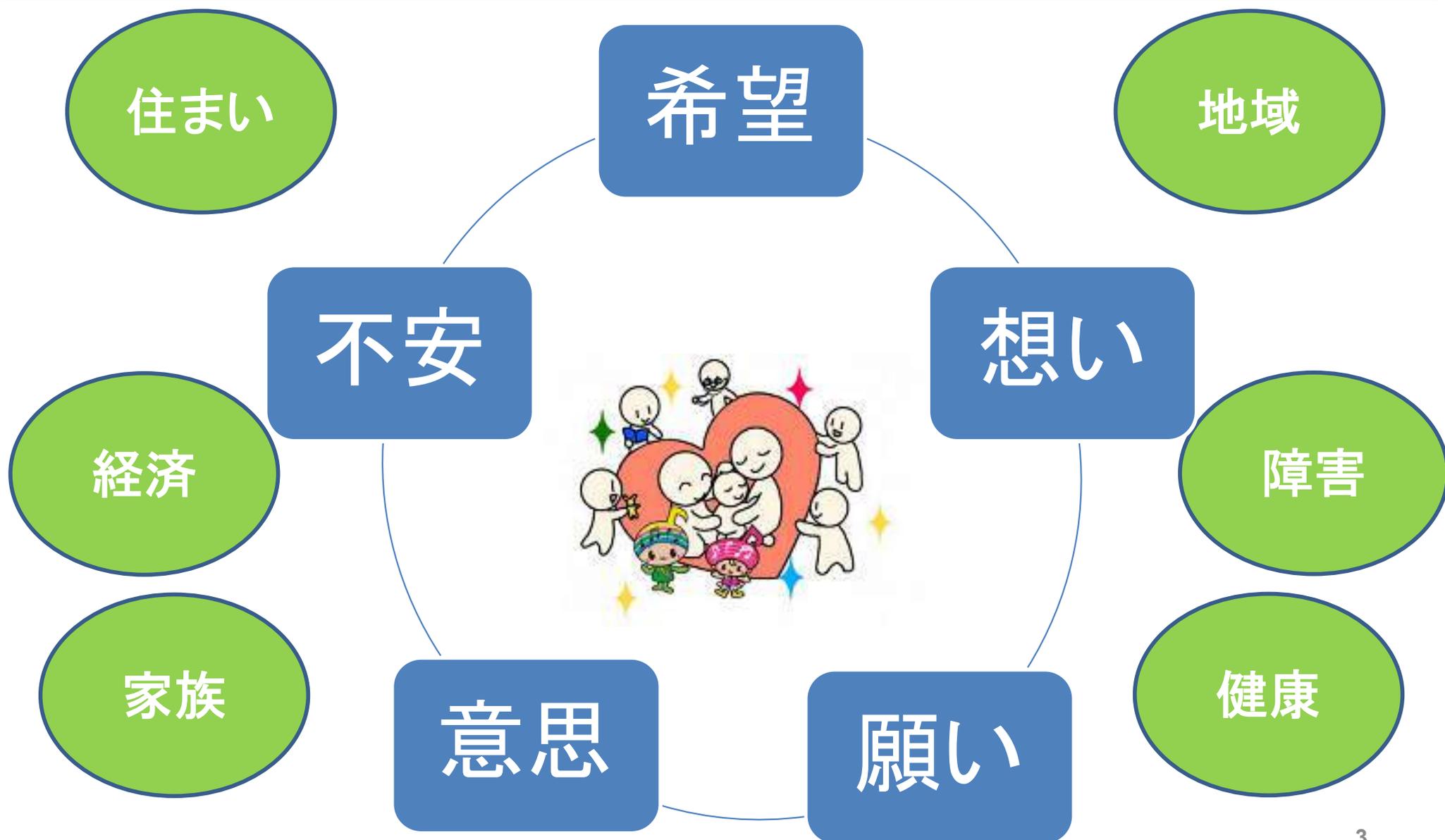
協働

社会資源開発整備

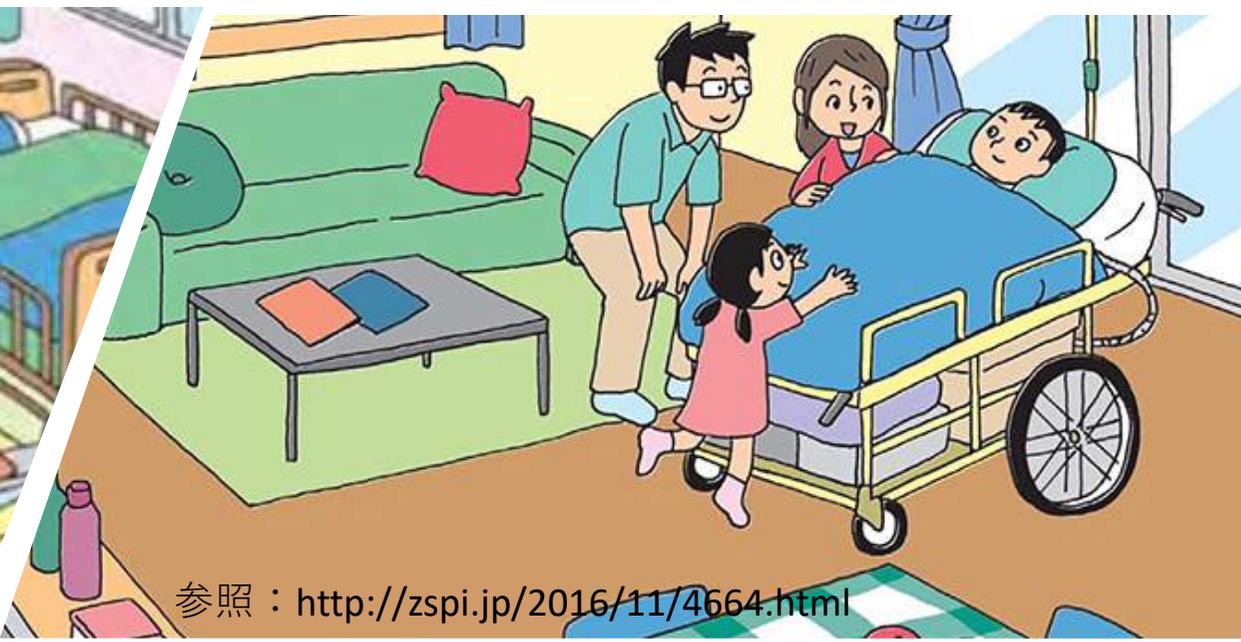
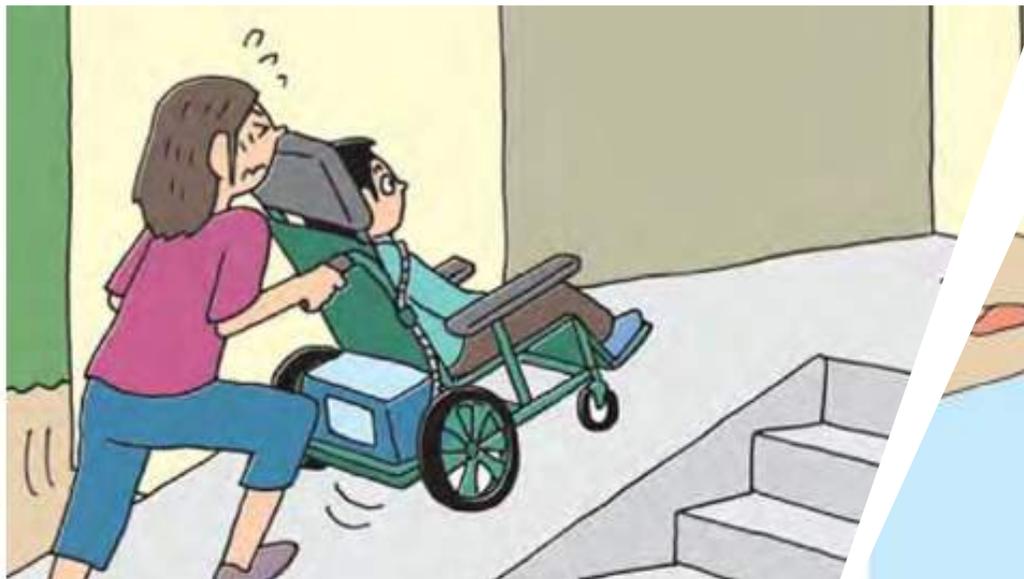
共生社会

ケアマネジメント手法

アセスメントの目的(潜在化ニーズ)



住環境整備



参照：<http://zspi.jp/2016/11/4664.html>

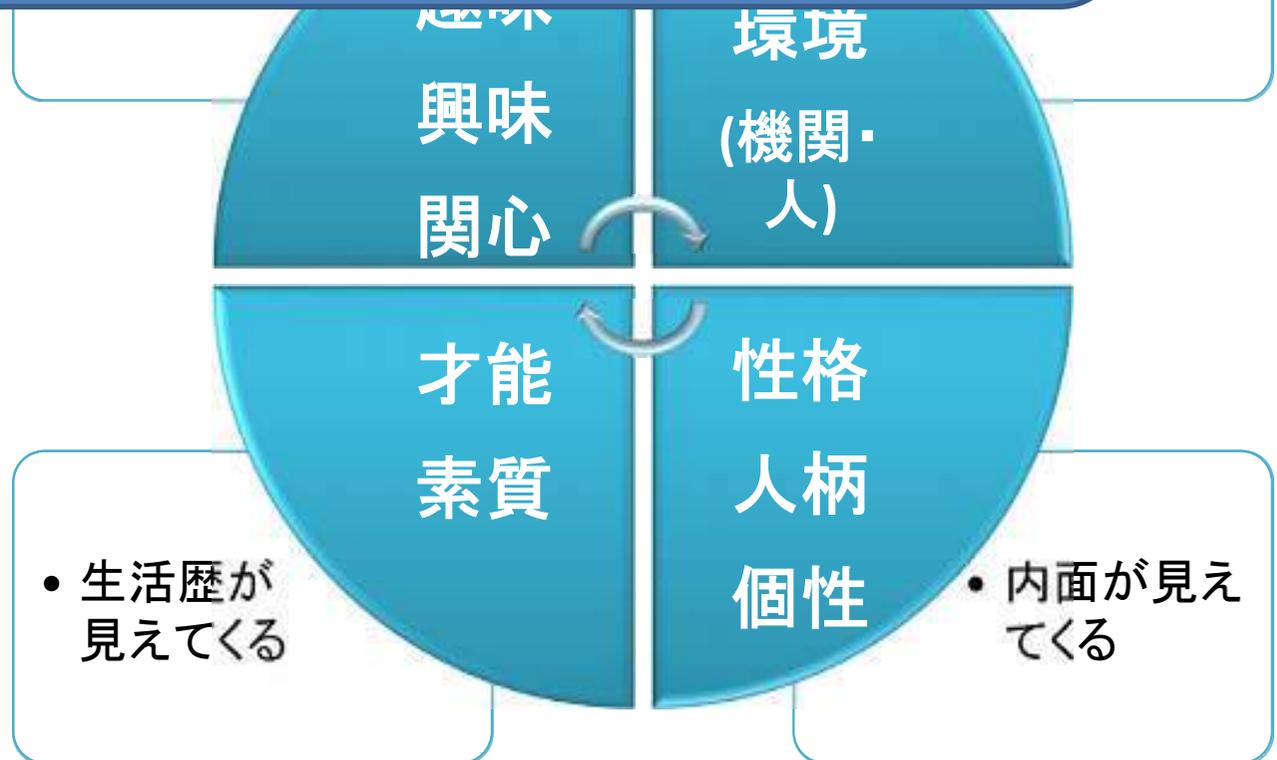


ゆりさん(家族)の
ストレングス

地域性・家族史・価値観・幸福感・文化等

本人が、できないことを認め、
できることを見つけて活かす支援

ストレングス アセスメント



ニーズの把握のためには・・・？

- ① 潜在的なニーズの掘り起こし
- ② 暮らし全体のアセスメント
- ③ 医療・教育などの他分野、地域とのつながる

ユーティネットのポイント

- ① 目的と連携のあり方の明確化
- ② 医療機関（病院・在宅医・専門医など）の役割を明確化
- ③ 「暮らしに活力」「自分らしい生き方」（「リスク回避の快適な寝たきり生活」といった介護支援計画にしない）
- ④ 本人がこれまで「経験できていないことへの挑戦」（最新技術活用等）
- ⑤ 「家族には家族に必要な支援」

コーディネーターの姿勢

- ① ストレングスの視点で本人の理解
- ② 疾患・障害に生活ニーズを合わせるのではなく、疾患・障害を正しく理解することで生活ニーズを豊かに
- ③ 「できる」「できない」の視点でなく、どのような支援があればできるか探る
- ④ 本人の生きにくさ、暮らしづらさはどこにあるのかを探り、見えないニーズ・課題に向き合う
- ⑤ ライフステージに応じた発達支援と、自立に向けての支援
同年代の子どもとして・・・！
- ⑥ 虐待の早期発見と防止、権利擁護の視点

エコマップ

• 心地良く過ごせる場所
や人、経験を広げたい

• 生活の希望や課題について、
行政の立場で一緒に取り組んで
ほしい

• 暮らしぶりや思いを受
け止めながら、多くの繋
がりのある暮らしをコー
ディネートしてほしい

*家=拠点・安全基地
• 家族で過ごしたい時間
• 成り立つ時間
• ありきでない時間
• 時間 etc

ONE TEAM

• 体調について定期的に相談したい
• 不調時は入院治療し

• 家で診てほしい

• 身体の調子
を整えたい

• 清潔に過ごしたい

*ケアだけでなく、人間
関係を深めながら、家で
自分の生活に力をつけて
いく…そういった関係性
にある

• 健康状態を
支えてほしい

• 身辺ケアを
支えてほしい

• 移動時も傍にいてほしい

吸引添乗

送迎

• 目的地に行きたい

• 社会人としての役割や関係を広げたい
• 家ではできないことをエンジョイしたい

• 生活を考える経験を広げたい

生活介護

併設
診療所

• 緊急時かけこみたい

共通性と
特殊性

医療的ケア児等の計画作成のポイント

1

- 「障害児である前に、一人の人間である。」という視点

2

- **This is me!**(生き方の多様性)

3

- 疾患や障害特性など正しい知識を持ち、理解して作成する。

4

- 本人自身、家族の意向を汲み取りエンパワメントの視点で作成する。

5

- 各支援機関の役割を明確にし、協働できるように作成する。

丁寧さの違い



先端
技術

連携

本人と家族の幸せ

共生社会

新たな創造と模索

スタートライン

命と暮らしの保障



具体的な作成ポイント

1

- 潜在的なニーズの掘り起こし(**T h i s me**)

2

- 暮らし全体のアセスメント

3

- 連携、地域とのつながり

4

- 関係機関の情報共有、目的・役割の明確化

5

- 暮らしに活力、自分らしさ、先端技術活用

6

- 家族には家族への支援



地域生活支援総合計画

「相談支援ファイル」の重要性



県内にある「相談支援ファイル」



子どもと保護者に寄り添いながら支援をつないでいくための
ツール(道具)です。

相談支援ファイル

緊急情報

閉じる

10月4日 [令和4年台風第14号について（令和4年10月4日15時00分現在）](#)

10月2日 [大隅半島東方沖での地震の発生について](#)

[防災・防犯情報メールサービス](#)

[「さんさんリレーファイル」](#)

[緊急情報RSS](#)

発達障がいを含む障がいのある子どもの「相談支援ファイル」



延岡市で研究、開発された相談支援ファイルです。

Q&Aが掲載されているなど、使いやすいように工夫されています。その他、延岡市では「さんさんリレーファイル」の補助的なツールとして、子どもの特性を正確に把握するために、5歳の時点での発達状態を確認するためのシート「わかばシート」と、乳幼児期の発達を運動、社会性、言語の3領域について様々に観察するためのシート「育ちのあしあと」も活用しました。

- PDF [表紙・はじめに（PDF：170KB）](#)
- PDF [Q&A（PDF：361KB）](#)
- Word [目次一覧（ワード：57KB）](#)
- Word [プロフィール（ワード：103KB）](#)

「相談支援ファイル」とは？

県政情報

さんさんリレーファイル

～ライフステージを通じた支援のために～

さんさんリレーファイル



平成23年3月改訂版

宮崎県教育委員会

はじめに

この「さんさんリレーファイル」は、特別な支援や配慮を必要とする子ども達の成長や現状を整理し、家族をはじめ、医療・保健・福祉・教育・行政機関など本人の支援に関わる支援者が本人の特性やニーズを共通理解しながら、ライフステージを通して一貫した支援を行うことを目的として作成しました。

記入について

- ◆ すべての項目を記入する必要はありません。子どもの支援にとって必要と思われる情報のみを整理していきます。子どもの特性や伝えたい情報に応じて項目や内容を追加したり、削除したりしても構いません。
- ◆ すべての項目を保護者が記入しなくても構いません。保護や教育の様子など、支援者でなければ分からない内容については、支援者に協力を求めてみましょう。
また、「目標の指導計画」や「指導の記録」等、子どもの様子や支援内容が分かるものがあれば、活用しても構いません。分からないことは、身近な支援者と相談しながら一緒に作成していきましょう。
※ 詳しくはホームページの「さんさんリレーファイルQ&A」をご覧ください。

保管・使用上の注意

- ◆ 原本として、ご本人・保護者、またはそれに変わる立場の方が責任をもって、慎重にファイルを保管して下さい。
- ◆ 記録する内容は、大変重要な個人情報です。プライバシーの保護など、個人情報の取り扱いには十分注意して下さい。

その他

- ◆ このファイルの閲覧は、宮崎県教育委員会、または、障がい福祉課のホームページからダウンロードできます。必要な用紙をダウンロードして、ファイルに揃わせて下さい。
- ◆ 手帳類（母子手帳、療育手帳等）や保護者等の役職には、ファイル用クリアポケットを添付すると便利です。

支援機関の取組へ（お願ひ）

このファイルは、子どもの支援を引き継いでいくために必要な情報を整理していくことを目的としています。保護者が整理しにくい内容につきましては、支援機関の皆様にご協力をお願いし、受け付けられないことがあるかもしれませんが、理解をいただき、ご協力下さいますようお願いいたします。



さんさんリレーファイルQ&A



Q1 『さんさんリレーファイル』はどのような人を対象に活用しますか？

障がいや病気の有無にかかわらず、学校や地域生活において特別な支援や配慮を必要とする人のために活用します。

Q2 『さんさんリレーファイル』は誰が作るのですか？

基本的には、保護者が主体となって作成していきます。記入の際には、本人の思いや願いも反映していくことも大切です。また、保育や教育、医療や福祉サービスの内容など、保護者が把握しにくい内容については、支援者に協力をお願いしていくことも大事です。

保護者が一人で抱え込まず、身近な支援者と相談しながら作成していくことが大切です。



Q3 『さんさんリレーファイル』は誰が保管しますか？

原則として、保護者やご本人、またはそれに変わる立場の方（後見人等）が責任を持って保管します。記載する内容は、大変重要な個人情報ですので、プライバシーの保護など十分な注意が必要です。

Q4 『さんさんリレーファイル』はどんなことに役立ちますか？

『さんさんリレーファイル』は支援をつないでいくためのツール（道具）です。『さんさんリレーファイル』を整理していくことで、これまでどのような支援を受けてきたのか、どのような支援を必要としているのか、新たに関わる支援者に情報を伝えやすくなり、新しい相談機関に行くたびに同じことを何度も始めから説明しなくてすむようになります。

また、教育の場においては『個別の指導計画』や『個別の教育支援計画』を作成する上での重要な情報源となります。『さんさんリレーファイル』は子どもの支援に関わる人たちと情報を共有することに役立ちます。

Q5 『さんさんリレーファイル』はすべて記入しなければならないのでしょうか？

すべての項目を記入する必要はありません。子どもの支援にとって必要と思われる項目を選択して活用します。子どもの特性や伝えたい情報に応じて、項目や内容をつけ加えたり、削除したりしてもかまいません。子ども一人一人特性は異なりますので、オリジナリティも大事です。

Q6 『さんさんリレーファイル』はいつから作成したらいいのでしょうか？

記入開始に決まった時期はありません。保護者の方が「子どもの特性を周囲の人に理解してもらいたい」「子どもにとって必要な支援を継続して行ってもらいたい」と思われた時に『さんさんリレーファイル』を活用しはじめることが望ましいと考えられます。

必ずしも過去にさかのぼって記入する必要はありませんが、小さい頃のエピソードが支援の手がかりとなることもあります。無理のない範囲で記入して下さい。

Q7 エピソード記録にはどんなことを書いたらいいでしょうか？

子どもが初めて体験したことやできるようになったこと、家族旅行や学校行事など成長の過程を記録します。子どもの様々な成功体験や失敗経験が、後々の支援の手がかりとなることもあります。「こうしたら、うまくできた」など支援のポイントが記録されると大変参考になります。アルバム風に用紙に写真を貼って、記録を残すなど工夫してみてもいいかもしれません。



Q8 パソコンで入力して作成していききたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

「スペースが狭くて書きづらい」「子どもの特性に合わせてアレンジしたい」という方には、パソコンを使って整理していくことをお勧めします。宮崎県教育委員会、または、障がい福祉課のホームページに Word・Excel 版の用紙が掲載されていますので、ダウンロードしてご活用下さい。

☆上手な活用の仕方☆

- 手帳類（母子手帳、療育手帳等）や診察券等の保管には、ファイル用クリアポケットと一緒に綴じ込んでおくと便利です。
- 子どもの苦手なところだけにとらわれず、得意なことや楽しんで取り組めることに目を向けることが大切です。『さんさんリレーファイル』が子どもの力を引き出す“支援のヒント集”として活用されることが望まれます。

「プロフィール」は、このファイルを最初に記入した時の状況について書いて下さい。
 その他は、必要な時や変化があった時などにそのつど書いてください。

1. プロフィール

記入日 (H〇年 〇月 〇日) 記入者 (〇〇 〇〇)

ふりがな 子どもの名前	みやざき たろう 宮崎 太郎 (男・女)	愛称	日頃の呼び方 たーくん
住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地	生年月日	H〇年〇月〇日

家族の 状況	氏名	続柄	生年月日(年齢)	職業	同居の別
	宮崎 一郎	父	昭和〇年〇月〇日	自営業	同・別
	花子	母	昭和〇年〇月〇日	会社員	同・別
	二郎	兄	平成〇年〇月〇日	大学2年	同・別
	梅	妹	平成〇年〇月〇日	小学5年	同・別
	三郎	祖父	昭和〇年〇月〇日	専業	同・別
					同・別

緊急連絡先	氏名	続柄	連絡先	備考
	宮崎 花子	母	000-0000-0000	携帯電話
	一郎	父	0000-00-0000	父親勤務先

診断名など	診断を受けた日	医療機関	医師
自閉症	H〇年〇月〇日 3歳	〇〇県立病院	△△医師
	年 月 日 歳		
	年 月 日 歳		
	年 月 日 歳		



長所・特技



*子どものいいところをたくさん見つけてみましょう！

- 小さい子どもの愛称がいい。
- 音楽に合わせて踊るのが得意である。
- 電車や昆虫の名前をよく覚えている。
- 一輪車に乗ることができる。
- 暗いでも明るく挨拶することができる。
- いつもニコニコしている。
- おうちの手伝いをよくしてくれる。 など

好きなこと

- プラモデルづくり
- 音楽鑑賞
- 車に乗ること
- キャラクターのグッズ集め
- 魚釣り
- 水遊び
- デパートに行くこと
- 動物とふれあうこと
- ケーキを食べること など

苦手なこと

- 長距離を走ること
- 大きな音(雷、花火)や声
- 爪を切ること
- トマトを食べること
- 顔を水につけること
- 自分で決断を決めること
- 真っ暗な場所
- 自転車に乗ること
- 新しい場所や人になれること など

余暇の過ごし方

- テレビやビデオを見る。
- お父さんと散歩をする。
- △△のゲームをする。
- 買い物に行く。
- 本を読む。
- お父さんと一緒にドライブに行く。
- 友達と公園で遊ぶ。
- お母さんとお菓子づくりをする。
- 家族でお出かけする。 など

所属歴 (幼児期)

保育所 幼稚園 通園施設など

施設名	所属期間	備考	
〇〇保育所	6ヶ月 ~ 2歳	もも組	〇〇先生
h (0000) 00-0000	HO年9月~HO年3月	うめ組	〇〇先生
		組	
〇〇〇〇園	2歳 ~ 5歳	ひよこ組	〇〇先生 〇〇先生
h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	きりん組	〇〇先生 個別療育を3ヶ月
		組	
〇〇〇幼稚園	5歳 ~ 6歳	ゆり組	〇〇先生
h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	組	入園後半年は加配(〇〇先生)あり
		組	
	歳 ~ 歳	組	
h () -	H 年 月~H 年 月	組	
		組	
h () -	H 年 月~H 年 月	組	
		組	

療育機関 習い事等

機関名	所属期間	頻度	内容	担当者
ことばの教室	3歳 ~ 6歳		言葉の遅れとオウム返しが増えたり、 子音で相談にて紹介される	〇〇
h (0000) 00-0000	HO年8月~HO年3月	1回 / 2週	発音訓練 SST等	
△△病院 感覚統合訓練	5歳 ~ 6歳		主治医からの勧めで開始する	〇〇
h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年7月	2回 / 月	担当者の変更にて学校に引継いで もらい終了した。	
〇△スイミング	9歳 ~ 12歳		本人の希望で開始する	
h (0000) 00-0000	HO年8月~HO年7月	1回 / 週		
	歳 ~ 歳			
h () -	H 年 月~H 年 月	回 /		

所属歴 (学齢期)

小学校 特別支援学校

学校名	所属期間	備考	
〇〇市立〇△小学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	1年生	〇〇先生
		2年生	〇〇先生
〇〇市立〇△小学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	3年生	〇〇先生
		4年生	〇〇先生(父親の仕事の関係で転居)
〇〇市立〇〇小学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	5年生	〇〇先生
		6年生	〇〇先生

特別支援学級在籍 なし、あり (期間 ~)

中学校 特別支援学校

学校名	所属期間	備考	
〇〇市立〇〇中学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	1年生	〇〇先生
		2年生	〇〇先生 通級利用: 〇〇先生
h () -	年 月~ 年 月	3年生	〇〇先生 支援学級: 〇〇先生

特別支援学級在籍 なし、 あり (期間 3年の4月~卒業まで)

高等学校 特別支援学校

学校名	所属期間	担任等	
〇〇△△支援学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	1年生	〇〇先生
		2年生	〇〇先生
h () -		3年生	〇〇先生

大学 専門学校等

学校名	所属期間	備考
県立〇×専門学校 h (0000) 00-0000	HO年4月~HO年3月	情報科 自宅からバスにて通学した。
h () -		
h () -		

福祉情報 I

(記入年月日 ○ 年 ○ 月 ○ 日)

持っている手帳など

手帳の種類	等級等	取得日	次回有効年月
身体障害者手帳 (あり・㉔)	種 級	年 月	年 月
	視覚・聴覚・肢体・内部・その他 ()		
	種 級	年 月	年 月
	視覚・聴覚・肢体・内部・その他 ()		
療育手帳 (あり・なし)	A・B1・B2	H〇〇年 2 月	H〇〇年 2 月
	A・B1・B2	年 月	年 月
	A・B1・B2	年 月	年 月
精神障害者 保健福祉手帳 (あり・㉓)	種 級	年 月	年 月
	種 級	年 月	年 月
	種 級	年 月	年 月

福祉サービス受給巻証

受給時期	区分等	サービスの種類	支給量等
H〇〇年4月	(あり・なし) 区分 ()	定期入所	月7回
年 月	(あり・なし) 区分 ()		
年 月	(あり・なし) 区分 ()		
年 月	(あり・なし) 区分 ()		
年 月	(あり・なし) 区分 ()		

診断の内容

診断名	診断を受けた時期	診断機関	診断内容
小児てんかん	H〇〇年〇月〇〇日〇〇時	〇〇病院	
	年 月 日 時		
	年 月 日 時		

医療補助	公費負担者番号	受給者番号
重症心身障害者 医療費支給巻証 (あり・なし)	〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
自立支援医療 (児科・更生・精神医療) (あり・なし)		
小児慢性特定 疾患医療受給巻 (あり・なし)		

相談歴



相談・訓練等

機関名	相談日	相談内容 (相談に至った経緯、主訴等)
名称: 〇〇保健所 TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	1歳半健診時に発達が見えなくなり、高度療育相談した。療育機関等を紹介されて見学に行けしてもらった。
名称: △△サークル TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	子育て相談にて言葉の発達について相談し、言葉の教室を紹介された。見学まで訓練を実施。
名称: 〇〇県立病院 TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇医師	発達についての相談し、自閉症の診断を受ける。中学1年までは1年に2回の定期受診、その後は月1回。
名称: 教育委員会 TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	幼稚園から勧められ、就学に関する相談を実施。心療科室 (W1SC-Ⅱ) 実施。普通学級を勧められた。
名称: 〇△支援学校 TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	小学校の特別支援センターから紹介され、学習と行動量に関する相談を開始。早期こころのケース会議の実施。
名称: 児童相談所 TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	不要飲の相談。心療科室 (日中ビネー) 実施。療育手帳B2交付。
名称: □□支援センター TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	主治医の紹介にて相談。療育内容での対応や連絡調整。保護者相談と本人へのSSTの開始。
名称: 〇〇職業センター TEL (000) 90-0000	H〇年〇月〇日 担当: 〇〇	ハローワークからの紹介、就労に関する相談。週性検査・職業訓練の実施。就労後ジョブコーチの利用。
名称: TEL () -	年 月 日 担当:	
名称: TEL () -	年 月 日 担当:	

※相談時に受けた処置や訓練内容の詳細があれば、別紙「相談の記録」に記載しましょう。

検査名	実施日	結果
検査名: WIPPS I 機関名: 〇〇県立病院	H〇年〇月〇日	言語性98・動作性87・全検査 69 自閉症と診断される。
検査名: WISC-Ⅱ 機関名: 教育委員会 (就学相談)	H〇年〇月〇日	就学相談にて実施。
検査名: WISC-Ⅱ 機関名: 〇△支援学校	H〇年〇月〇日	言語性98・動作性78・全検査 62 中学進学に向け状態把握のために実施。
検査名: 田中ビネー 機関名: 児童相談所	H〇年〇月〇日	検査の知的障害 療育手帳B2の交付。
検査名: WAIS-Ⅱ 機関名: □□支援センター	H〇年〇月〇日	言語性93・動作性72・全検査 63 就学相談のために実施。

※心理検査の結果を調査でいただいた場合は一緒に差し込んでおくとう便利です。

日常生活

(記入日 H0年 0月 0日)



食 事

好きな食べ物

- カレーライス
- オムレツ
- 焼きそば
- リンゴ
- チョコレート
- ラーメン など

苦手な食べ物

- ビーマン
- トマト
- 辛い食べ物全般
- キン粉
- 納豆
- 小骨の多い魚 など



食べてはいけないもの(アレルギー等)

- そば
- 大豆
- たまご など

- スプーンやフォークを使ってこぼさずに食べることができる。
- 箸を使って食べることができる。
- 食事を採るのに特殊な食器が必要である。
- 流動食や刻み食など食べやすくするための加工が必要である。

具体的な支援の方法や配慮事項

- 好きなものばかり食べて、嫌いなものを残してしまいがちである。苦手なものもバランスよく食べられるよう、声かけてほしい。
- 焼き魚の骨を探ることが難しい。焼き魚が食事に出ることがあれば、子どもと一緒に骨を探る練習してもらいたい。
- トマトをどうしても受けつけない体質がある。無理のない範囲で少量ずつ食べる練習をしてもらいたい。
- 餅をうまくかめずのどに詰まらせてしまう可能性がある。餅は焼いたり、煮込みなどりする前に、飲み込める大きさに切っておいてもらえると助かる。

など

トイレ



一人のできること

- 尿意や便意を出えることができる。
- 男女のトイレの区別ができる。
- スポンジやパンツの着脱ができる。
- 衣服を汚さずに用をたすことができる。
- 用便後、手洗いができる。
- お尻を出さずに用をたすことができる。(男)
- 生理の処理ができる。(女)
-

支援や配慮が必要なこと

- 小さい頃からのおしっこをするときにズボンとパンツを下に下げてしまうことがある。チャックを開けておしっこをするよう声かけしてもらいたい。
- 大便の際、おしりの拭き取りが不十分なときがあります。拭く回数、拭きやすさよう指導しています。

着がえ

一人のできること

- スポンジやパンツ、スカートに着脱ができる。
- 裾下ろしができる。
- シャツや上着の着脱ができる。
- 左右を間違えずに靴を履くことができる。
- ベルトを解けることができる。
- 着だしなみを整えることができる。
- 気温に合わせて服を換えることができる。
-

支援や配慮が必要なこと

- ボタンの掛け違いをすることがあるので、下がる前にボタンをかけるよう指導しています。本人はまだ覚悟が薄いため、声かけしてもらえると助かります。
- 靴紐を結ぶことができないので、ズックを使用しています。マジックテープのつければ自分でできます。

入 浴

一人のできること

- 体を洗うことができる。
- シャワーを使って髪を洗うことができる。
- シャンプーやリンス、せっけん等を使い分けることができる。
- 体をタオルで拭くことができる。
- 削いだ髪の毛の処理ができる。
- 入浴後の衣服の準備をすることができる。
-

支援や配慮が必要なこと

- 感覚的にシャワーを使うことが苦手です。洗面所や風呂にお湯をかぶることは慣れあっていますが、お風呂で目覚めにくいよう指導しています。
- シャンプーとボディシャンプーを間違えて使うことがあります。家庭ではボトルの色で判別させています。シャンプー系、ボディシャンプー系

睡眠



一人でできること	支援や配慮が必要なこと
◇ おおよその就寝時間（時～時）	
<input type="checkbox"/> 布団の準備や片づけができる。	<input type="checkbox"/> 今でも時々、おねしょをしてしまうことがあります。就寝前に必ずトイレに行かせるようにしています。
<input type="checkbox"/> 肌着にふさわしい衣類に着替えることができる。	<input type="checkbox"/> 新しい場所、興奮しているときはなかなか寝つけないときがあります。タオルを巻いたものなど柔らかいものを抱いていると落ち着くようです。
<input type="checkbox"/> 一人で寝ることができる。	
<input type="checkbox"/> 目覚まし時計をセットすることができる。	
<input type="checkbox"/> 目覚まし時計で起きることができる。	
<input type="checkbox"/>	

洗面

一人でできること	支援や配慮が必要なこと
<input type="checkbox"/> 手を洗うことができる。	<input type="checkbox"/> 水で口をすすぐ感覚をなかなか理解することができません。水と口に含んで水を出す動作を何度も繰り返すよう指導しています。
<input type="checkbox"/> 顔を洗うことができる。	<input type="checkbox"/> ドライヤーを使うことができる。
<input type="checkbox"/> 歯磨きができる。	<input type="checkbox"/> 耳掃除をすることができる。
<input type="checkbox"/> うがいをするすることができる。	
<input type="checkbox"/> クシを使って髪をとくことができる。	
<input type="checkbox"/> ドライヤーを使うことができる。	
<input type="checkbox"/> 耳掃除をすることができる。	
<input type="checkbox"/>	

移動

一人でできること	支援や配慮が必要なこと
<input type="checkbox"/> 階段の登り降りができる。	<input type="checkbox"/> 横断歩道でうっかり飛び出してしまう事もあります。横断歩道をしっかり見て、判断するよう指導しています。
<input type="checkbox"/> 歩道や横断歩道を安全に歩行することができる。	<input type="checkbox"/> 細かい段差につまずくことがあります。段差を意識させるよう、声かけをお願いします。
<input type="checkbox"/> 交通ルールを守ることができる。	
<input type="checkbox"/> 安全に自転車に乗ることができる。	
<input type="checkbox"/> エレベーターやエスカレーターを利用できる。	
<input type="checkbox"/> バスや電車など公共の交通機関を利用することができる。	
<input type="checkbox"/>	

※ 足りない項目もあると思いますので、支援に必要な項目があれば書き加えて下さい。



コミュニケーション

（記入日 年 月 日）

相手から本人に伝えるとき

- 日常生活で用いる簡単な指示はほとんど理解できる。
- 視覚的な支援（絵カード、手紙等）があると理解しやすい。
- 異体物を見せたり、行動でモデルを示したりすると理解しやすい。

理解を促す具体的な支援の方法や配慮すべき点

- 抽象的な言葉の理解が難しいです。できるだけ分かりやすく短い言葉かけをお願いします。
- 比喩や皮肉、冗談を理解することができず、真に受けしてしまうことがあります。話している内容を理解しているときは、どのような事なのか分かりやすく伝えてほしい。
- 後ろから話しかけられるのが苦手です。正面から話しかけてもらえるとうれしくなります。
- 一言指導の中では、指先が理解できないことがあります。理解していない場合は、個別に話しかけてもらえるとうれしくなります。

本人から相手に伝えるとき

- 自分の意思を言葉で表現することは苦手である。
- 本人独特の伝え方がある。
- 絵カード、トーキングエイド等、意思表示のための支援機材を利用している。

コミュニケーションの特徴や理解のためのポイント

- 自分の気持ちや意思をすすんで伝えられないことがあります。物事を決めなければならない場面では、いくつか選択肢を出してもらえると、意思表示しやすくなると思われれます。
- 相手の発音が聞き取りにくいことがあります。聞き取りにくかったことは「〇〇の字かな？」と聞き返して確認して下さい。
- 表情よく話しかけることが苦手です。「笑っているように話せよ」と話を褒めて、モデルを示して頂けると助かります。
- 相手の気持ちや意思を察することが苦手で、思ったことをストレートに表現してしまい、相手に傷つけてしまうことがある。



感覚の特性

(記入日 H○年 ○月 ○日)

人によって、周囲の状況のとらえ方や感じ方が異なります。
一人ひとりの感じ方の違いを理解することが大切です。

感覚特性チェック

感覚特性の例 (あてはまる欄に○をつけてみましょう)	むしろ 反対になる	あてはまる 例)	少し あてはまる	とても あてはまる
特定の音や食感がどうしても受けつけられない。				<input type="checkbox"/>
食べるものが腐っていて、特定のものが食べられない。				<input type="checkbox"/>
大きな音（または声）や特定の音を極度に嫌がる。			<input type="checkbox"/>	
テパトなど人混みが苦手である。		<input type="checkbox"/>		
視覚情報に気を配られやすい。			<input type="checkbox"/>	
人から触られることを極度に嫌がる。	<input type="checkbox"/>			
散髪や爪切りなど極度に嫌がる。		<input type="checkbox"/>		
臭いが気になって他のことに集中できないことがある。		<input type="checkbox"/>		
暑さや寒さに対して過敏である。			<input type="checkbox"/>	
クルクル回ったり、揺れたりする遊びが好きである。		<input type="checkbox"/>		

※ 感覚特性には他にもたくさん人の例があります。お子さんの具体的な感覚特性を書いてみましょう。

具体的な感覚特性やエピソード

- 手や足先に汗れや水がついてしまうと気になって、着がえずにはいられなくなる。
- 雷や花火の音、犬の鳴き声など大きな音が苦手である。
- 膝下をはくのを嫌がる。
- 暑さが苦手で、夏頃は風通しのいい日陰にいることを好む。
- 冷めた料理が食べられない。
- シャワーを浴びることに抵抗がある。
- 小さい頃、抱きしめられることを嫌がっていた。
- キラキラ光るものを見るのが好きである。
- 痛みに敏感で、傷口の固まりを剥いでしまって、傷の治りが悪い。
- クルクル回っても音が聞かない。
- 爪や靴下などの臭いを強く嫌がる。
- 回った回ったものが苦手で、吐き出してしまう事がある。

※ 感覚の特性に対する支援や対応の仕方が整理できたら、『支援のヒント集』に具体的な支援方法や配慮事項を書き込んでいきましょう。



行動の特性

(記入日 H○年 ○月 ○日)

行動特性の例

<input type="checkbox"/> 特定の物や行動にこだわる場所がある。	<input type="checkbox"/> 本人独特の癖や話し方がある。
<input type="checkbox"/> じっとしていることが苦手。	<input type="checkbox"/> 気が散りやすい。
<input type="checkbox"/> 初めての場所や人に馴染むのに時間がかかる。	<input type="checkbox"/> 興奮での行動が苦手である。
<input type="checkbox"/> 大事な物をなくしてしまうことがある。	<input type="checkbox"/> 突発的に行動してしまうことがある。
<input type="checkbox"/> 人づきあいや友達づくりが苦手である。	<input type="checkbox"/> おしゃべり好きでなかなか止まらない。
<input type="checkbox"/> カッとなったり、イライラしたりしやすい。	<input type="checkbox"/> 逃子になってしまうことがある。
<input type="checkbox"/> パニックになってしまうことがある。	<input type="checkbox"/> 運動や細かい作業など不器用な面がある。
<input type="checkbox"/> 興奮や関心が衰えている。	<input type="checkbox"/> 気持ちを切り替えるのに時間がかかる。
<input type="checkbox"/> 不眠になったり、怪れたりすることがある。	<input type="checkbox"/> テンションが上がりやすい。
<input type="checkbox"/> 落ち込みやすい。	<input type="checkbox"/> じっとしていて、あまり動かない。
<input type="checkbox"/> 人目を気にしすぎる場所がある。	<input type="checkbox"/> 人目をほとんど気にしない。

※ 他にも様々な行動の特性が考えられます。本人の具体的な行動の特性を書き出してみましょう。

具体的な行動の特徴やエピソード

- ※ どんな場面でも、どのようなことが理由やきっかけとなりやすいのか詳しく書いてみましょう。
- 本人が不意に出来事や突然起こったり、予定が変更してしまうとパニックを起こしたり、固まってしまうたりする。
- 前払いを指摘されると、イライラしやすい。
- じっとしていることが苦手、初めての場所に行くとき探検行動をして、逃子になってしまいがち。
- 遊びに没頭していると、話しかけても反応しないことがある。
- 首や喉みもブロックを並べて遊ぶことにこだわる。
- 机の下やロッカーなど狭いところに入りたがる。
- 好きなアニメの歌のフレーズやセリフを録り音でつぶやく。
- 他人を叱っていても、自分が叱られたように感じてしまうことがある。
- 人前で発表が苦手、固まってしゃべれなくなってしまうことがある。

※ 行動特性に対する支援や対応の仕方が整理できたら、『支援のヒント集』に具体的な支援方法や配慮事項を書き込んでいきましょう。



支援のヒント集

No. 1

ここでは、「こんな時、こうしたら上手くいった」という支援の方法を書き足していきます。



こんな場面で…

友達が使わらないうちを呼びかけても、反応しなかったので、肩をトントンと叩いたところ、本人がビックリしてしまって、友達を叩いてしまいました。



こんな支援が助かります

本人が何かに夢中になっているときは、後から話しかけても聞こえていないことがあります。前から話しかけてもらった方が、話し声が入りやすいです。



こんな場面で…

休み時間に教室内をウロウロと歩き回っています。



こんな支援が助かります

何をしたらよいか分からないときに歩き回ることがあります。「〇〇くん、一緒に遊ぶしない？」と具体的な活動に誘って下さい。



こんな場面で…

予想外の出来事によって、パニックを起こしてしまいました。



こんな支援が助かります

静かな狭い空間で過ごすことや落ち着かすくなります。パニックを起こしているときに話しかけると、集中に没頭してパニックがおさまらなくなります。落ち着いてから話してもらった方が落ち着いてコミュニケーションができます。



支援のヒント集

No. 2

ここでは、「こんな時、こうしたら上手くいった」という支援の方法を書き足していきます。



こんな場面で…

好きな事に夢中になっていると、別の行動になかなか移れない場合があります。



こんな支援が助かります

好きな活動を始める前に、「〇〇分になったら、次はみんなをします」と事前に予告してもらえると、自分から気持ちを切り替えやすくなります。



こんな場面で…

一言一言、確認しなければ、行動できないことがあります。



こんな支援が助かります

今の活動が終わったら、次は何をしなければならぬのか視覚的な情報を提示してもらえると、自分から次の行動に移りやすくなります。ひらがなで読めるので、ひらがなでスケジュールを提示してもらえると理解できると思います。



こんな場面で…

人前で緊張して、話せなくなることがあります。



こんな支援が助かります

役割用紙に事前に話す内容を書いて、原稿を読むことは可能です。また、人前で話すことは難しいのですが、事前にビデオで話す様子を練習することも不安感を軽減させると考えられます。



移動・運動に関する情報

(記入日 HO年 O月 O日)

姿勢保持	立位するとき	座位するとき	床での座り
	立位では、壁などに手をついて支える。 臥位では、立位で立位をとっている (OOの時間、10分単位)	1人ではお座りできないので、座位保持装置を使っている。	股関節に悪いので、とんび座りはしてはいけない。しかし、本人は美なのでしてしまいがち。
	その他 あお向けの場合は、OOのクッションをOOにあてる。 O方向に力が入り、ずれていきやすい。力をつけてみていき、元に戻してあげる。		
姿勢変換	自分で巻取りをすることができない。O分おきに横向きや仰向けなど、体を動かしてあげる。 姿勢や体の動き、介助する時の注意事項などについて記入します。		
上肢の動き	右手にまひがあり、左手は使わない。 本人は巻取機だが、OOを伸ばすような動きをする。伸ばした後は、そのままになってしまうので、力が抜けた後は元に戻してあげる。		
下肢の動き	力が入ると足を交差してしまう。その時は、股関節からゆっくりと曲げて力を抜かせてから、股関節・ヒザを伸ばす。		
移動	室内	1人だけでは歩けない。短下肢器具をつけて、介助者が両手を引きながら歩く。ずりばいで移動。行きたい所には自分で行く。	
	室外	歩行器、車椅子、抱っこ	
使用している補助的機器	立位台、歩行器 (OO、OO)、短下肢器具		

感覚に関する情報

(記入日 HO年 O月 O日)

		対応方法、配慮すること
まひの有無	なし あり (右上肢、右下肢)	感覚について、特記しておくことがあれば記入しておきましょう。
視覚	・右目：斜視、視力：△□ ・左目：斜視、視力：□□ ・OOcm位の距離だと見えている ・右側の方が見えやすい	補聴器使用中
聴覚	左耳に聴覚あり、補聴器をつけて、OO程度聞こえる。	補聴器 (左)
触覚	・右上肢・下肢のまひ ・体を触られるのをとても嫌がる。	・右上肢・下肢は痛みなどを感じにくい。構・ケガをしていないか注意する。 ・急に触れるとパニックを起こすので、まず声をかける。遊びの時に体を触れる動作をする (手を握る等) と、最初は嫌がるが徐々に慣れてくる。
臭覚	・OOの臭いが好き	
味覚	・OO味が好き	・OO味のを口に入れると、吐き出してしまう。 ・OO味を先に食べると、それしか食べなくなる。他の種類を先に食べさせる。
日常生活用具	補聴器、眼鏡、車椅子、座位保持装置 その他 ()	
その他	・ゆさぶり遊び (たて揺れ、よこ揺れ) を喜ぶ	

就学前【3歳】

ダウン症の3歳の女児をイメージしての記入例です。

園名等	〇〇幼稚園	クラス担任	〇〇 〇〇
園外の主な支援機関	(機関名)		(担当者)
	(機関名)		(担当者)
	(機関名)		(担当者)

1 家庭や地域での様子

① 生活面（掃除・食事・着替え・入浴・歯磨き・洗面等）

- ・食事は好きなものは自分で食べる。野菜も少し食べられるようになってきた。スプーンの使い方が上手になってきた。
- ・自分でやろうとする気持ちが出てきて、身の周りのことを自分でやろうとするようになってきた。パンツとズボンは自分ではけるようになってきた。

② 遊びや興味・関心について

- ・家の畑の上で泥遊びをするのが最近はずいぶん好きで、小さいスコップで穴を掘ったり、カップ等に入れたりするのを楽しんでいる。
- ・絵本をよく見るようになった。動物の絵本がお気に入り、絵本を読んでも楽しい時は自分から持ってくるようになってきた。

③ ことばやコミュニケーションについて

- ・言葉はまだはっきり発音できないが、構構がいいときは「おえねえ」と呼ぶ。また、一人でお話しているように聞かせることがある。

④ その他

※できるようになったことや変化のあった出来事を書きましよう。

3 園の記録 ～3歳～

記入者（〇〇 〇〇）

	本児の様子	支援の手立て・配慮事項	支援の成果と課題
口頭指導	・ご飯、肉、野菜は好んでよく食べるが、野菜は食べようとしない。口にしてもすぐに出すこともある。	・言葉かけを性ないながら、好きな物は、皿の少し口に入れることから始め、食べられたらほめ、少しずつ量を増やしていく。	・まだ、言葉かけは必要だが、嫌いな物も随分食べられるようになり、量も増えてきたが、もう少し遊びの中で運動量を増やし、食欲につなげていく。
	・パンツやズボンは声をかけると一人ではけるが、シャツやズボンの着脱やボタンかけはできません。遊びを始めるようにすることもあった。	・つまづいている部分は言葉を伝えながら一つずつ取り組ませていく。 ・ゆっくりでも自分でやる時間を確保してできる喜びを持たせていく。	・まだ全部を一人でではできないが自分でやろうとする意や集中力が芽生えはじめた。 ・家庭では慣しく長日を通じられているようだが、自分で取り組む時間を取ってもらおう。
	・排便、排便ともまだ両立しておらず自発的にトイレに行くことはまだない。	・失敗も多いが、言葉に聞きやすい。排便の感覚を感じさせていく。 ・様子を見ながらトイレに誘ってみる。	・まだ自発的にトイレで排便することは少ないが、失敗は少なくなってきている。 ・おしっこ、様子を見ながら聞きかけを行い、トイレでの成功体験を増やしていく。
・名前を呼ばれたら返事をして手をあげたり、嫌な時は泣いたり等の意思表示はできるが、はっきりした表現はまだない。 ・表情は豊か。	・ゆっくり語り、言葉を見ながら言葉のやりとりを認識すること心がけ、感情を言葉にして伝え共感していく。 ・簡単な絵本の読み聞かせを印刷取り入れ楽しませている。	・言葉の理解がだるでできるようになり、オウム返しではあるが発音も随分増えてきた。 ・絵本の読み聞かせは、もう少し個別にゆっくり取り入れ、発音につなげていく。	
・興味のあることには、自分から楽しむとする。水や砂に触れたりして遊ぶことは好きだが、じっと遊ぶことがまだない。	・一緒に好きな遊びや体を動かす遊びを積極的に取り入れる。 ・平遊びや歌遊び、スキップを沢山取り入れる。	・園庭でままごと遊び等、少しの時間だが一人遊びを楽しむようになってきた。一緒に楽しむを共感しながら、更に色々な遊びを楽しむようにしたい。	
・人なつこい性格だが、まだ上やコミュニケーションがとれないで泣いたりすることもある。 ・自分から担任や友だちの側に行き関わりを持つようとする姿もある。	・側で言葉を代弁しながら子ども同士の間わりを少しずつ増やしていく。 ・友だちと一緒に簡単なお手紙い等を楽しませている。	・クラスの子とも達がお話をするなど、子ども同士の関わりが増え、笑顔が増えてきた。 ・子ども同士で遊ぶ姿も見られるので、簡単なごっこ遊び等も楽しませている。	
・やりたいこと、興味のあることが中心だが、歌や手遊び等は担任の歌に聴いて聞いたりする。友だちの中にいることは嫌ではない。 ・友だちの姿を見て行動することもある。	・側で言葉をかけたり、話したりしながら、やれそうなことは、友だちの中で少しずつ経験させていき、楽しさへとつなげていく。	・担任が働きかけなくても自発的に他児に参加しようとするようになってきた。 ・理解できることは少しずつ増えながら、できることを増やしていきたい。	
・体が柔らかく筋力が強い。体を動かすことは苦手ではないが、疲れてくると走り込んで動かさないとある。	・一緒に登山や遠いお出かけをして、全身を動かす遊びを積極的に楽しませる。 ・家庭でも積極的に体を動かすことを取り入れた遊びや生活を心がけてもらう。	・体力がだいぶつき、活発さがでてきた。休つきもしっかりしてきただけに感じるが、下肢を動かす遊びをもっと取り入れていきたい。	

※既存の「個別の指導計画」や「指導の記録」等を代用して構いません。

※子どもの成長や発達の状況に合わせて、学期毎や年間毎など評価の頻度を調整して下さい。

小学校（小学部）【2年生】

特別支援学校小学部2年男子をイメージ

学 校	〇〇支援学校	学級担任	〇〇 〇〇
在 籍	□通常学級 特別支援学級（□知的・□情緒） ■特別支援学校		
在籍校特別支援教育コーディネーター		〇〇 〇〇	
学校外の主な支援機関	〇〇発達障害者支援センター 〇〇医師 〇〇薬剤師		

1. 家庭や地域での様子 ※できるようになったことや変化のあった出来事を書きまじよう。

① 生活面（睡眠・食事・着替え・入浴・片づけ・手洗い等）
<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳が嫌いだったが、少しずつ飲めるようになってきた。 ・着替えのあと、制服をハンガーに掛けることができるようになった。 ・入浴時、シャンプーでこしごし頭を洗えるようになってきている。シャワーも嫌がらずに、頭からかぶることができるようになってきた。
② 興味や関心（趣味や特技）
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇競技〇〇レンジャーにはまって、ビデオを繰り返し見ている。
③ 放課後や休日の過ごし方
<ul style="list-style-type: none"> ・大好きなキャラクターの絵に色塗りをするを楽しんでいる。 ・父親と買い物に行き、野菜を一掃に切ったりして、夕飯を作る手伝いをする。
④ 本人の気持ち（嬉しい、悩み、困っていること等）

3 学校の記録～小学（小学部）2年生～ 記入者（〇〇 〇〇）

	本児の様子	支援の手立て・配慮事項	支援の成果と課題
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳が嫌いでも口をつけようとしな。 ・ボタンのつけ外しが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに一口牛乳を飲んでから他の物を食べるように、次に好きな物を準備して、励ます。 ・大きめのボタンをつけたり外したりする作業を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの一口が飲めるようになる。あとはスムーズに飲めるようになった。 ・時間はかかるものの、一人でボタンのつけ外しができるようになってきている。
学習面	<ul style="list-style-type: none"> 《生活単元学習》 ・家庭では家の中で過ごすことが多く、経験不足の面がある。 《算数》 ・1～10までの数概念が身につけており、数のマッチングができる。 《国語》 ・50音中、40文字ひらがなが読めるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな体験ができるよう、茶摘み、そうめん流し、野菜作りなど、屋外での活動を積極的に取り入れる。 ・ジグと具材物を使って、5～6まで数えたり、マッチングさせたりする学習を行った。 ・ひらがなのマッチングやお話しボード、カルタ取りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜作りをとおしてまに触ることに抵抗がなくなった。 ・10以上の概念が定着しにくかったが、10ブロックごとに仕切った箱に数を数えながらビー玉を入れる作業を通して、50までの指定された数を合わせられるようになった。 ・ひらがなに関する関心が高まって公文書の単語のカードを読めるようになってきた。
対人面	<ul style="list-style-type: none"> ・要求を上手く伝えることができずパニックになり、跳ね返りをしたり引っこいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出たときには「手伝ってください」と言うよう、繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求がある時、パニックにならずに伝えることができるようになった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大好きなキャラクターを求めて、他の教室の本棚等を転々と走り回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室でたくさんキャラクターの絵を描いてあげたり、色塗りを楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを手帳かりとして、色々な活動ができるようになった。

※ 既存の「個別の指導計画」や「指導の記録」等を引用してまがいません。

※ 子どもの成長や変化の状況に合わせて、学期毎や一年間毎など評価の期間を調整して下さい。



ひろやんままのブログ

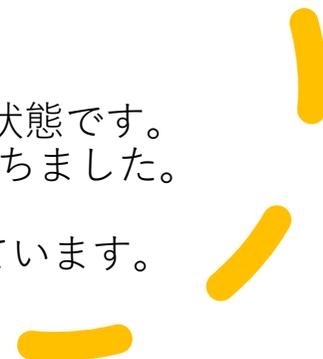
大田原症候群という難治性てんかんで9年9ヶ月の生涯をとげた海弥(ひろや)と家族の日常を綴っています。

ひろやんまま

2013年夏の甲子園で準優勝を果たした延岡学園のある、宮崎県延岡市に住んでいます。

我が家には6人の子どもがいて、末っ子の海弥(ひろや)は重度の障害があり寝たきりの状態です。
→2015年12月11日17時00分、急性肺炎の重症化による敗血症性ショックでお空に旅立ちました。

子どもの事、障害のこと、医療・福祉にまつわる事、日常の愚痴など、ブログに綴っています。



【さんさんリレーファイル】

海弥のように、特別な支援や配慮を必要とする子ども達の成長や現状を整理し、家族・医療・保健・福祉・教育・行政機関など本人の支援に関わる支援者が、本人の特性やニーズを共通理解しながら、ライフステージを通して一貫した支援ができるよう宮崎県(延岡市)が独自で始めた取り組みで、カルテのような個人情報ファイルです。

海弥はほとんどの時間を眠って過ごしているため、快、不快、喜怒哀楽を表情で表現することがないため、支援者がいつも戸惑ってしまいます(;^_^A

このファイルには、海弥なりの表現の仕方、安楽に過ごせる方法、海弥に必要なケアなど誰が見てもわかるように作っています。

所定の様式では不足している部分もあるため、海弥独自のものも足しています。

毎月1クールで利用しているショートステイの時には必ず持って行き、目を通してもらうのですが、最初の頃は認知度が低く、『こんな大事なものは責任持てないので、お持ち帰り下さい』と言われることも…(-_-;)

ようやく、最近になって、看護師さんたちも活用してくれるようになり、海弥もショートステイ中、穏やかに過ごせるようになりました。

海弥のように医療ケアが必要な子は、将来的には施設にお願いするしか道はありません。

甲斐海弥

● 気切カニューレ
(喉頭気管分離)
H₂O. 5/7

シャイラー
5.0PED

次加量
3/21

● 胃管造設
(喉門形成)
H₂O. 5/7

18Fr-2.0cm
(MIC-KEY 0620)

次加量
3/21

● 経管栄養

● ラコール 200ml)
白湯 100ml) x 3

⑥ . ⑫ . ⑱

※ 1時間~1時間半の間
注入して下さい。
(ポンピング器具に注意!!)

※ 30分以内
は30分まで!

● ホカリ 150ml)

① O₂ (F) ~ 40cmH₂O
② F (F) ~ 4cm
③ 100% O₂ (2nd 4th)
④ ... 4th 2nd 4th

⑤ 呼吸器
気管挿入
気管挿入
気管挿入

⑥ 呼吸器
気管挿入
気管挿入



⑦ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

⑧ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

⑨ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

⑩ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

⑪ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

⑫ 呼吸器
気管挿入
気管挿入

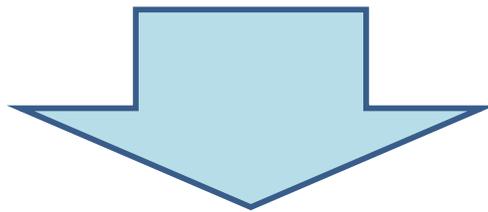
意思決定とは？

ある目標を達成するために、複数の
選択可能な代替的手段の中から最
適なものを選ぶこと



意思決定支援とは？

心に浮かべる漠然とした「思い」や「考え」
を形にし、本人が主体的に何かを選択し
ていくことを支援するプロセス



思いをくみとり実現する支援

意思決定支援のプロセス

①

形成

- 「想い」の形成
- 「情報」「経験」「体験」

②

表出

- 「想い」を形にする
- 自己主張

③

選択・決定

- 自分で選ぶ(自己決定)

支援者の意思受信能力

言語化されない思いをキャッチできているか？

行動の奥にある利用者の想いにきちんと対応できているか？

問われているのは障がい者本人の意思表出能力ではなく、**支援者側の意思受信能力**である

医療的ケア児への 意思決定支援

- ① 意思決定支援の追求
- ② 困難な人への意思決定支援の仕組みづくり
- ③ 本人の最善の利益
- ④ ラストリゾートとしての代行決定
- ⑤ 過去・現在・未来(自分史作り)
- ⑥ 最新技術との連携

ストーリー(物語い)作り

- 医療的ケア児の意思表示は個別性が高い
- この人は「おそらくこうしたいのだろう」という仮説をもとに、経験を積んでいく
- 客観的に捉えるのは難しいが、この人なりの意思決定を表す重要な様子をエピソードとして積み上げていく
- 本人・家族の歴史に寄り添う

植物状態の人との「対話」とは

エイドリアン・オーウェン
生存する意識
植物状態の患者と対話する
柴田裕之訳



- 著者: エイドリアン・オーウェン
- 翻訳: 柴田 裕之
- 出版社: みすず書房
- 装丁: 単行本(320ページ)
- 発売日: 2018-09-19

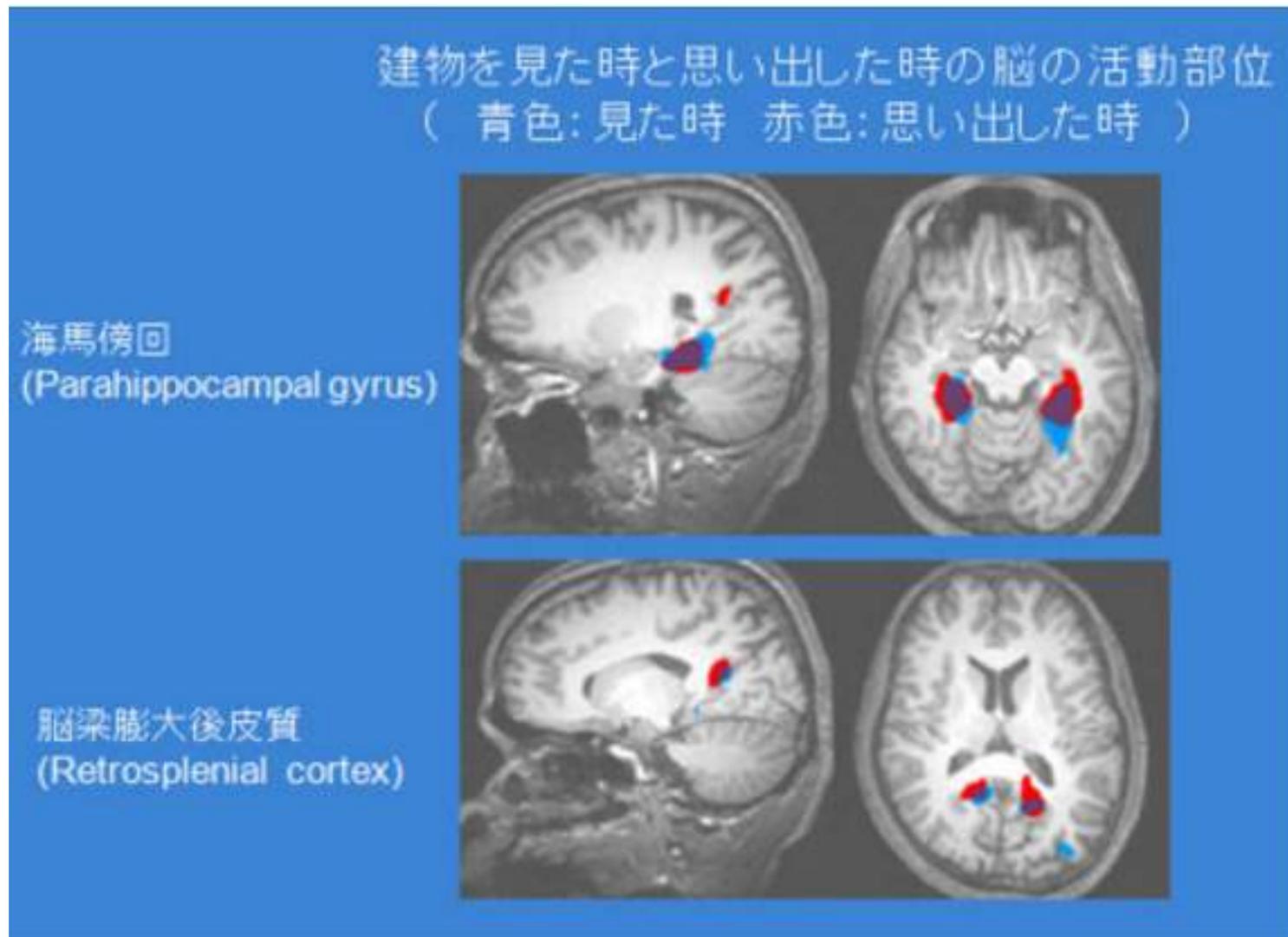
みすず書房

本書は「脳の機能が失われて意識は存在しない」とされていた植物状態の患者との対話を試みて、彼らの意識の存在を明らかにしたドキュメンタリーである。

“完全に認識が変わった。
これまでは自分が植物状態になれば無理に生きたくはないと漠然と考えていたが、今は違う。
植物状態になっても生きていたいし、妻にも何があっても鼻の栄養チューブを抜かないでくれとお願いした。
意識とは何か、生きるとはどういうことか。従来の価値観がひっくり返る驚天動地の物語だ。”
—角幡 唯介・評(『文藝春秋』2018年12月号より)

fMRIとは？

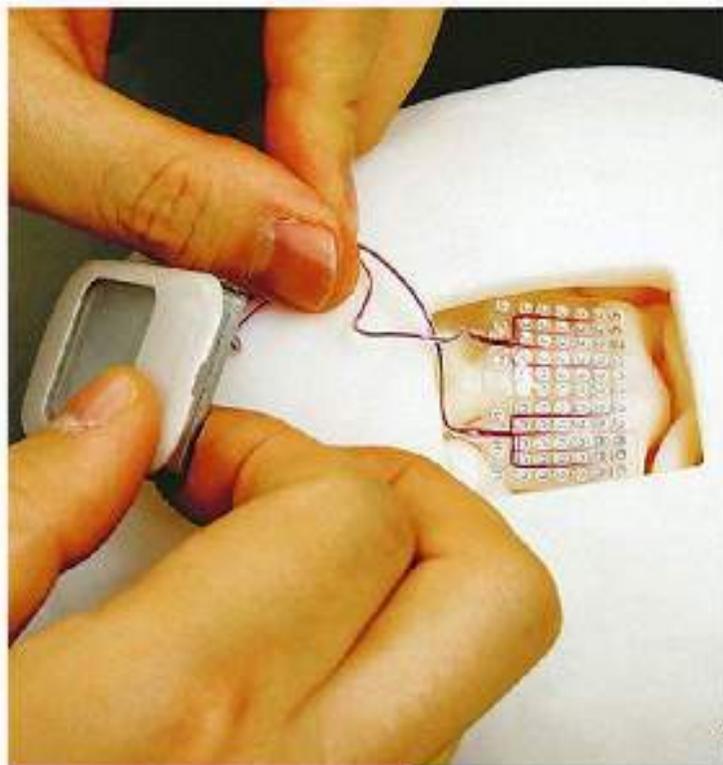
fMRIはMRIのもたらし構造情報の上に、脳の機能活動がどの部位で起きたかを画像化するものです(図1)



脳波で 文字入力

ALS患者の頭部に 脳波計を埋め込んで 文字入力につなげる 治験の流れ

1. 機器の電極を脳の表面に置く
(写真は模型)

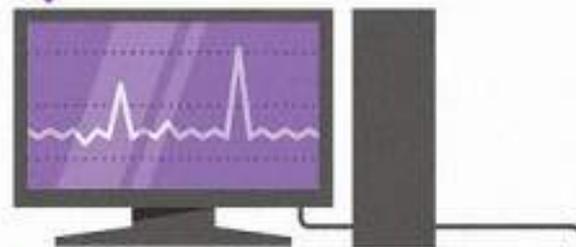


埋め込み脳波計

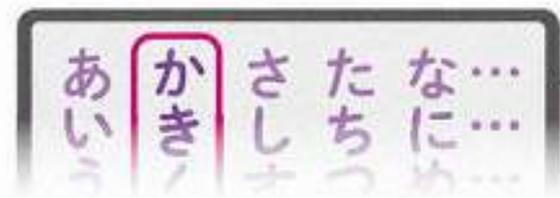
2. 手を握るイメージ
をしてもらう



3. 機器から
コンピューターに
脳波を無線通信



4. 手を握る意思を解読



5. 握るイメージで意思
伝達装置を操作。
伝えたい文字を選ぶ

自閉症の作家・東田直樹氏の言葉

言葉や態度や表情で、表現することができない人が存在することを、どうすればわかってもらえるのか悩みます。誰にもわかってもらえない人の心を救えるのは、やはり人だと思います。

話せない人に対しては、気持ちを推測するしかないのはわかります。しかし、見かけの言動だけで、話せない人の気持ちまで、すべてわかったように、決めつけないでほしい。本当の気持ちは、その人にしかわからないはずで。

思ってもいないことを、まるで本人の意見のように断定されると、それに対して弁解もできない人は、ただ、従うしかない。話せない人の心の中を想像して言う言葉は、あくまでも言っている人の意見だということを、忘れないで欲しいです。

「想いをくみとり実現する支援」を！